令和元年度　国立吉備青少年自然の家教育事業
「キビキビ通学合宿」

１．事業の目的（趣旨・ねらい）

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動を通して、「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

２．事業の概要

（１）期日　令和２年２月１１日（火・祝）～１５日（土）４泊５日

（２）参加者

①　事業対象・人数
吉備中央町内の小学３年生～６年生　３０人

②　参加人数
４０人

（３）企画・運営のポイント

①　合宿のテーマを「早寝早起き朝ごはん」とし、規則正しい就寝・起床のリズムを友達と揃えることに加え、最終日は自分たちで朝食づくりを行うことで、日々の生活の中での準備・片付けの大変さを知るとともに、家族への感謝の気持ちを培うようにした。

②　児童を４つの班に分けることで、異なる学校や学年の児童とふれあう機会を創出し、職員や班付きボランティアの指導を行き届かせやすくした。

③　参加者が主体となって時間を管理できるように、自然の家での夜の活動内容や生活時間を固定した。また朝の打合せ会の中で必要に応じて時間変更を検討して、対応するなど柔軟な運営にも心掛けた。

３．活動の内容等

（１）日程

	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 15 30 18 19 20 21 22																				
1日目 2月11日（火）										入所式	オリエンテーション	キビキビ交流タイム		決意式	タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝
2日目 2月12日（水）	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校								下校	キビキビ宿題タイム	タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝
3日目 2月13日（木）	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校								下校	キビキビ宿題タイム	タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝
4日目 2月14日（金）	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校								下校	キビキビ宿題タイム	タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝準備	就寝
5日目 2月15日（土）	起床・洗面	清掃		朝のつどい	朝食 調理・片付け	点検	キビキビ交流タイム	退所式	解散												

（２）活動の状況

【入所式】

【オリエンテーション】

【キビキビ交流タイム①】

【キビキビ交流タイム②】

【決意式】

【夕食】

【登校の様子（徒歩）】

【登校の様子（送迎車）】

【キビキビ宿題タイム】

【夕べのつどい】

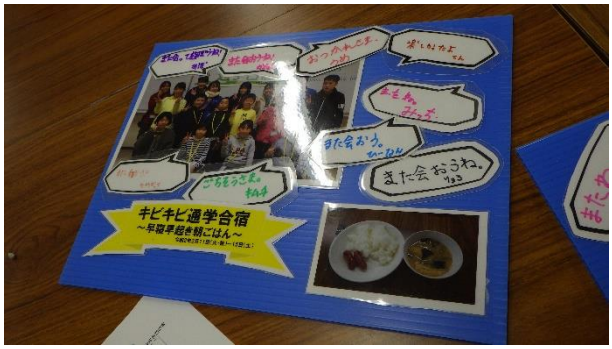
【キビキビ交流タイム③（班遊び）】

【朝食作り①】

【朝食作り②】

【朝食】

【キビキビ交流タイム④（クラフト）】



【クラフト作品（集合写真＋朝食写真＋寄せ書き）】

４．成果・課題

（１）満足度

満足：９２％　ほぼ満足：８％

（２）参加者の声

① 最初は、あまりみんな仲良くなかったけど、仲良くなるイベントがあったからよかった。

② 家でも朝早く起きたり、夜早く寝たりすることができそうです。

③ 最後の日にみんなで作った朝食がおいしかった。家でも作ってみたい。

④ （洗濯や掃除、調理などで）お母さんたちの大変さがよくわかりました。

⑤ （スタッフが)「ダメな時はダメ」と厳しくしかってくれてよかった。

（３）成果

① 合宿のテーマを「早寝早起き朝ごはん」としたことで、合宿期間中の日々の生活に軸となるめあてができ、その達成に向けて行動することができた。

② 全体の中で高学年の人数は少なかったものの、合宿にかつて参加した体験から、自分から進んで整列時に声掛けしたり、次の活動を教えたりするなど、リーダーシップを発揮する場面が多々見られた。

③ 朝食作りを始め、身の回りの整理整頓や洗濯なども自分で行うことで、家庭内における家事の大変さに気づき、普段の生活を省みることができた。

④ 送迎時における車の乗降の際のあいさつだけでなく、靴をぬぐって乗車したり、最後列から席を詰めたり、皆が気持ちよく過ごすための思いやりの気持ちを育成することができた。

（４）今後の課題

① 職員の研修やボランティアの試験の日程などのために、今年度は当初の計画から１週間前にずらしての開催となった。職員やボランティアのスタッフが少ない中での厳しい運営となったので、来年度は年度末の職員研修やボランティアの試験予定などを早期に確認していくことが求められる。

② 当初の計画が、日曜日の日帰りと火曜日から土曜日までの４泊５日の合わせて４泊６日での開催であったが、火曜日が祝日ということもあり、４泊５日での開催となった。しかしながら、途中でホームシックになる児童やアンケートに「４泊５日は少し長すぎる」と記入する児童がいた。合宿期間や曜日設定を検討することが必要である。

担当：主任企画指導専門職　佐藤　泰之